

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 岐阜日中交流促進会

1. 事業名称 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

2. 事業の目的

岐阜市及び近隣市町村の外国人定住者や永住者、日本人配偶者など中国語を母語とする住民を対象とし、日常生活を営む上で必要となる日本語能力を身につけ、日本社会に早く溶け込めるよう、地域住民として自立した生活ができることを目的としました。

岐阜市及び近隣市町村の定住者や永住者、日本人配偶者など定住傾向にある中国系住民が年々増加している中、日本語によるコミュニケーション能力の不足や、文化・習慣の相違による地域社会における様々なトラブルが後を絶たない。「生活者としての外国人」の日本語教育は待ったなしの課題であります。

当団体がこれまで「生活者としての外国人」のための日本語教育事業に対する取組を実施してきた結果、日本語を習得したい、地域の日本人と交流したい、日常生活の中で外国人ならではの問題を解決したいという声が高まりました。また、この地域の多文化共生状況を更に改善していくためには、外国人住民コミュニティの自助組織を増やし、各地域に日本人住民との架け橋になる人材を育てる必要があります。

3. 事業内容の概要

○依然として生活に必要な最低限の日本語の習得を支援することは必要であることから、外国住民の多数を占める中国系住民を対象とし、豊富な教育経験を持つ中国語話者講師等による中国語の説明を加えた授業を行いました。また、日本語教育資格を有する外部の専門家を定期的に招き、指導者及び学習者の質問や疑問等に応える場を設けることで一層の学習意欲向上及び外部とのネットワークを図りました。

○住民間の交流を促進する目的で、日中文化交流大会及び生活安全講座を開催しました。先輩の中国系住民や、日本人家族、地域日本人を招き、日本文化、地域社会との交流の機会を図りました。また、他機関との連携・協力に基づき、文化交流、防犯・防災、交通安全などの活動を通じて、地域住民との交流を広げました。

○先輩住民である中国系住民と中国系住民と共に働く日本人の双方から、体験談を踏まえた相互理解についてシンポジウムで語っていただく場を設けたことで、文化や習慣の違いを超えて、共生共存の素晴らしさや友好関係を再認識する機会となりました。

これらの取組を実施したことにより、これまで培ってきた人材や地域のネットワークを広く発信し、新たな多文化共生社会に必要な外国人リーダーを育成することができたと考えています。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	H25年8月25日 13:00-14:00	3時間	本団体事務所	加納 正子 天野 卓男 長屋 正幸 古川 竜治 今尾 ひな子 呉 志良 辛 軍青	①企画・計画内容及び審査結果報告 ②担当者及び講師、補助者の選任の検討 ③教室の進め方及び内容構成の検討 ④教室会場選定の検討 ⑤広告・募集方法の検討 ⑥安全・保険確保の検討	①事務局から本年度の【生活者としての外国人】の日本語教育事業を採用されたとの報告あり、より具体的な事業内容について協議・決定した。 ②担当理事から本年度の責任担当者及び講師の選任について、指名した経緯や理由を説明した上で、具体的な内容を議論した。 ③教室の進め方及び内容構成について 昨年度の事業の進み具合や、その他教室の経験などから、本事業の主旨・目的を最大限に重視したカリキュラムを検討した。 ④本教室の対象者の特徴に基づき、教室会場をどう選定するかを検討した。 ⑤広告、募集方法を検討した。 ⑥関係者全員の安全・保険の内容について検討して決定した。
2	H25年12月1日 9:00-12:00	3時間	本団体事務所	天野 卓男 長屋 正幸 古川 竜治 今尾 ひな子 呉 志良 辛 軍青	①事業の進捗具合 ②授業後の相談対応 ③事例報告等の今後対応 ④他団体との連携方法・形式について	①今までの事業の進捗具合を評価し、推移と見通しを話した。 ②受講者からの授業後の相談体制、主な相談内容の処理方法等を検討した。 ③日本語教育研究協議会などで事例報告等が必要なとき今後どう対応するかを検討した。 ④今までの他団体との連携事業を総括し、より良い効果を得るため、担当者の負担軽減や今後の連携方法・形式等を検討し議論した。
3	H26年3月16日 13:00-16:00	3時間	本団体事務所	加納 正子 天野 卓男 長屋 正幸 古川 竜治 今尾 ひな子 呉 志良 辛 軍青	①事業報告・評価 ②受講者らの要望対応 ③収支報告 ④今後の計画	①事業内容の終わりにつきどう評価・報告するかを議論した。 ②受講者など関係者から様々の要望と期待をどう答えるかを討議した。 ③事業の収支について、限られた予算で団体・個人どう負担するか、ボランティアの扱いについて議論した。 ④あらゆる可能な方法を検討し、次期の申請及び他団体との更なる連携可能性を検討した。

5. 取組についての報告

○取組1: 岐阜 中国人のための日本語講座

(1) 体制整備に向けた取組の目標: 日本語コミュニケーション能力を身に付けることを目的とし、初級は日常生活に困らない程度の日本語能力を習得し、中級は日本語能力N3級以上のレベルに達することです。

(2) 取組内容: 岐阜市及び周辺地域の中国語を母語とする住民を対象として、日本語基礎及び地域日常生活に欠かせない専用日本語を授業内容とします。とりわけ:

- ①主に豊富な教育経験を持つ中国語ができる講師が母語で分かりやすい説明を加えて授業を行います。
- ②日本語教育資格を有するプロの教師を定期的に招き、質問や疑問等をクリアして一層習得効果を向上します。
- ③授業は初級クラスと中級クラスが同時に進行することにより、日本語能力が異なる家族や友人でも同一時間帯に受講することができるようにします。
- ④日本文化、地域社会の常識、社会ルールなどに関する専用日本語を授業内容に取り入れ、実用性を重視します。

(3) 対象者: 岐阜市及び周辺地域に在住し、中国語を母語とする住民を対象とします。

(4) 参加者の総数 55 人

(出身・国籍別内訳 中国・中国 46人, 中国・日本 9人)

(5) 開催時間数(回数) 6 時間 (全 18 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 9月1日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	15	中国(13人) 日本(2人)	自己紹介 基礎力確認	①簡単な自己紹介方法を教える ②日本語基礎能力を確認して、これからの授業で個々の能力を配慮して進める。	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		15	中国(11人) 日本(4人)	自己紹介 基礎力確認	①自己紹介のこつを教える ②日本語基礎能力を確認して、これからの授業で個々の能力を配慮して進める。	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
2	平成25年 9月8日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	20	中国(18人) 日本(2人)	日本語基礎 防災・救急	①基礎日本語を学習する ②119番、110番の通報方法や救急車の呼び方などを学習	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		17	中国(13人) 日本(4人)	日本語基礎 防災・救急	①基礎日本語を学習する ②119番、110番の通報方法や救急車の呼び方などを学習	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
3	平成25年 9月22日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	22	中国(17人) 日本(2人)	日本語基礎 日常生活	①基礎日本語を学習する ②日常生活の中で利用する銀行について(窓口、ATM)	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		17	中国(13人) 日本(4人)	日本語基礎 仕事探し	①基礎日本語を学習する ②各種面接(仕事探し、入学等)時の自己アピール方法や用語について学習	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
4	平成25年 9月29日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	19	中国(17人) 日本(2人)	基礎日本語 医療保険	①基礎日本語を学習する ②医療保険(社会保険、国民健康保険)について学習	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		16	中国(13人) 日本(3人)	基礎日本語 医療保険	①基礎日本語を学習する ②医療保険(社会保険、国民健康保険)について学習	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
5	平成25年 10月6日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	17	中国(15人) 日本(2人)	基礎日本語 仕事探し	①基礎日本語を学習する ②各種面接(仕事探し、入学等)時の自己アピール方法や用語について学習	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		18	中国(16人) 日本(2人)	基礎日本語 日常生活	①基礎日本語を学習する ②日常生活の中で利用する銀行について(窓口、ATM、振込)	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
6	平成25年 10月13日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	17	中国(15人) 日本(2人)	基礎日本語 納税	①基礎日本語を学習する ②各種税金(所得税、市・県民税、資産税等)について学習	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		18	中国(16人) 日本(2人)	基礎日本語 納税・滞納	①基礎日本語を学習する ②各種税金(所得税、市・県民税、資産税等)について学習	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
7	平成25年 10月27日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	23	中国(18人) 日本(5人)	基礎日本語 食文化基礎	①基礎日本語を学習する ②日本の食卓マナー及び関連用語について学習	古川竜治 (指導者)	銭 堅
		中級 3		21	中国(17人) 日本(4人)	基礎日本語 食文化、注意点	①基礎日本語を学習する ②日本の食卓マナー及び関連用語について学習	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
8	平成25年 11月10日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	18	中国(16人) 日本(2人)	基礎日本語 自己の年金	①基礎日本語を学習する ②年金保険(厚生年金、国民年金)について学習	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		21	中国(17人) 日本(4人)	基礎日本語 年金・計算法	①基礎日本語を学習する ②年金保険(厚生年金、国民年金)について学習	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青

9	平成25年 11月24日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	20	中国(18人) 日本(2人)	基礎日本語 基礎力確認	①基礎日本語を学習する ②日中文化の違いという観点から、正しい感謝とお詫びの仕方を勉強する。	古川竜治 (指導者)	銭 堅
		中級 3		18	中国(15人) 日本(3人)	基礎日本語 基礎力確認	①基礎日本語を学習する ②中間テスト	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
10	平成25年 12月1日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	18	中国(16人) 日本(2人)	基礎日本語 礼儀用語基礎	①基礎日本語を学習する ②中間テスト	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		15	中国(12人) 日本(3人)	基礎日本語 会話力	①基礎日本語を学習する ②会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
11	平成25年 12月8日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	16	中国(14人) 日本(2人)	基礎日本語 会話力	①基礎日本語を学習する ②会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		21	中国(17人) 日本(4人)	基礎日本語 会話力強化	①基礎日本語を学習する ②会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。	古川竜治 (指導者)	辛 軍青
12	平成25年 12月22日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	13	中国(11人) 日本(2人)	基礎日本語 日本文化	①基礎日本語を学習する ②日本の正月 お歳暮う、年賀状、おせち料理、初詣、新年挨拶	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		12	中国(10人) 日本(2人)	基礎日本語 日本文化	①基礎日本語を学習する ②日本の正月 お歳暮う、年賀状の書き方、初詣、新年挨拶	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
13	平成26年 1月12日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	18	中国(16人) 日本(2人)	基礎日本語 会話力	①基礎日本語を学習する ②会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。	古川竜治 (指導者)	銭 堅
		中級 3		19	中国(15人) 日本(4人)	基礎日本語 礼儀	①基礎日本語を学習する ②日中文化の違いという観点から、正しい感謝とお詫びの仕方を勉強する。	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
14	平成26年 1月26日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	21	中国(16人) 日本(2人)	基礎日本語 病院のこと	①基礎日本語を学習する ②病気の場合、病院で使われる常用語を勉強する	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		19	中国(17人) 日本(2人)	基礎日本語 会話力	①基礎日本語を学習する ②会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
15	平成26年 2月2日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	19	中国(17人) 日本(2人)	基礎日本語 応用力	①基礎日本語を学習する ②手紙の書き方、季節挨拶について学習	古川竜治 (指導者)	銭 堅
		中級 3		19	中国(15人) 日本(4人)	基礎日本語 応用力	①基礎日本語を学習する ②手紙の書き方、季節挨拶について学習	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
16	平成26年 2月9日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	21	中国(19人) 日本(2人)	基礎日本語 会話力強化	①基礎日本語を学習する ②会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		17	中国(14人) 日本(3人)	基礎日本語 病院のこと	①基礎日本語を学習する ②病気の場合、病院で使われる常用語を勉強する	古川竜治 (指導者)	辛 軍青
17	平成26年 2月23日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	22	中国(18人) 日本(2人)	能力確認 会話力	①N4級レベル模擬試験 ②会話能力を強化する目的に、ひとつの話題について話せるだけ話す。	馬 励 (指導者)	銭 堅
		中級 3		21	中国(15人) 日本(3人)	能力確認 仕事探し	①N3級レベル模擬試験 ②仕事探し・面接と履歴書	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青
18	平成26年 3月9日 13:00~16:30	初級 3	岐阜中央青少年会館	20	中国(18人) 日本(2人)	基礎力確認	①発表会 テーマ:私の家族 ②アンケート調査	古川竜治 (指導者)	銭 堅
		中級 3		18	中国(14人) 日本(4人)	基礎力確認	①発表会 テーマ:私 ②アンケート調査	銭 萃芬 (指導者)	辛 軍青

岐阜 中国人のための日本語教室

参加無料!

面向在日中国人的日语讲座

この日本語教室は、文化庁の「生活者としての外国人」の日本語教育事業の一環として実施するものです。岐阜県在住の中国語を母語とする住民は、だれでも参加できます。授業の中では分かり易い中国語での説明を加えます。また、日本で生活するための文化、習慣、生活知識なども教えます。

- ◆ 開催時期：2013年9月～（毎月第1, 2, 4, 5日曜日午後、詳細は日程表を参照）
- ◆ 時間：日曜日午後13:00～16:30（初級・中級）
- ◆ 場所：岐阜中央青少年会館等
- ◆ 定員：初級、中級各20名（応募者多数の場合は先着順）
- ◆ 受講料：無料
- ◆ 申込方法：申込書をご記入の上、FAX または郵送にてお送りください。

【申込・問合せ先】岐阜日中交流促進会
〒502-XXXX 岐阜県岐阜市則武〇〇番地
Tel/Fax 058-233-4538
携帯 090-3511-XXXX、090-7039-XXXX
(中国語・日本語対応可能)

【注意】都合により会場を変更することがありますので、ご希望の方は、上記申込先まで必ず事前にご確認ください。お手数をおかけしますがよろしくお願いします。

这日语讲座是文化厅面向外国人的日语教育事业的一部分。居住在岐阜县的以中文为母语的各位朋友都可以自由报名参加。在教学中将同时增加用中文的解释说明,并且在教学内容中增加了在日本生活所必须的生活常识以及日本的风俗文化等部分。

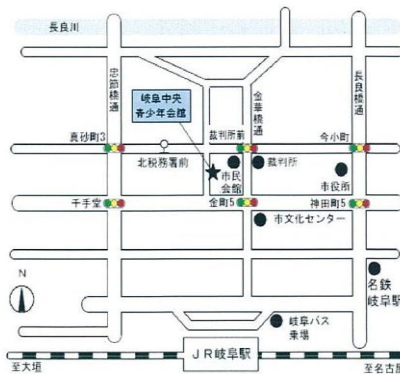
- ◆ 上课日期：2013年9月～（毎月第1, 2, 4, 5 星期日午後, 详见课程表）
- ◆ 时间：周日下午13:00～16:30（初級・中級）
- ◆ 地点：岐阜中央青少年会館
- ◆ 名额：初級、中級各20名（按报名顺序额满为止）
- ◆ 费用：免费
- ◆ 申请方法：请填写申请表，传真或邮寄皆可。

【申請・諮詢處】岐阜日中交流促進會
〒502-0931 岐阜県岐阜市則武〇〇番地
電話/傳真 058-233-4538
手機 090-3511-XXXX 090-7039-XXXX
(中文、日語皆可)

【注意】因上課教室可否利用等原因，上課地址可能有變更。所以，如果您想參加此日語講座，務必事前向上記的單位聯繫。

【交通アクセス / 交通路线】

岐阜中央青少年会館
〒500-8804 岐阜市京町3-19
(TEL 058-266-5134)
無料駐車場一部あり



申込書(東海 中国人ための日本語教室) / 申请表(东海 面向在日中国人的日语讲座)

氏名/姓名		年齢/年齡		性別/性別	
電話番号/电话号码		FAX/传真号码			
在留資格等		住所/地址			

面向在日中国人的日语讲座 2013年度课程表
 (中国人のための日本語教室 2013年度日程表)

日期	时间	次数	班级	地址	教室号码	备考
9月1日	13:00~16:30	1	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
9月8日	同上	2	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
9月22日	同上	3	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
9月29日	同上	4	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
10月6日	同上	5	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
10月13日	同上	6	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
10月27日	同上	7	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
11月3日	09:00~16:00	全員 他		市橋コミュニティセンター	日中文化交流会 外国人のための生活安全講座	
11月10日	13:00~16:30	8	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
11月15日	午前	全員 他		岐阜本巢消防署	外国人のための生活安全講座	
11月21日	午後	全員 他		岐阜北方警察署	外国人のための生活安全講座	
11月24日	同上	9	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
12月1日	同上	12	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
12月8日	同上	10	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
12月22日	同上	11	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
1月12日	13:00~16:30	13	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
1月26日	同上	14	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
2月2日	同上	15	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
2月9日	同上	16	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
2月23日	同上	17	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分
3月2日	10:00~15:30	全員 他		岐阜産業会館	日中市民新春の集い 共生共栄の道一	
3月9日	13:00~16:30	18	初级 中级	岐阜中央青少年会馆	研2 研3	休憩時間 30分

(7) 参加者の募集方法 岐阜市公共施設、国際交流団体窓口、役所市民課窓口などにチラシを置くと同時に、岐阜地域における中国系住民のネットワーク(主に口コミ)を活用しました。

(8) 教室活動風景



a. 初級教室にて(11月24日)

日中文化の違いという観点から、お互いに誤解の無いような正しい感謝とお詫びのしかたを勉強しました。

事前に、宿題として課題を与えて、日常生活をしっかりと観察して、自分又は他人が失礼した時又は過ちを犯した時どのように謝っているのか、感謝された時どのように応えているのかを留意して、できるだけ記録しておいて、フィードバックします。

また、様々な日本語の言い回し方を調べて、日本の文化習慣を理解した上で授業に臨みました。

授業では、まず、日本人の先生が一般的な言葉使いや礼儀作法の基本を指導します。全員に理解してもらうように通訳を介して授業を進めました。授業では日中文化の違いにより、誤解しやすいところを確認して、文化の違いを再認識しました。

また、日本人配偶者のご家族も招き入れ、家庭生活の中で誤解し易いところ、特にコミュニケーション能力の足りなさから生じた誤解を議論しました。

その日の学習では、自分の謝り方では相手に正しく気持ちを伝わっていないことがお互いにわかったのです。大変貴重な勉強だと感想を述べた人が多かったです。

b. 中級教室にて(12月22日)

日本の正月が近づき、年賀状を送るという風習があることは中国と同じですが、やはり日本の年賀状文化は特別で、外国人が気を付けないとよく失礼にあたる場所がありますので、授業のテーマにしました。

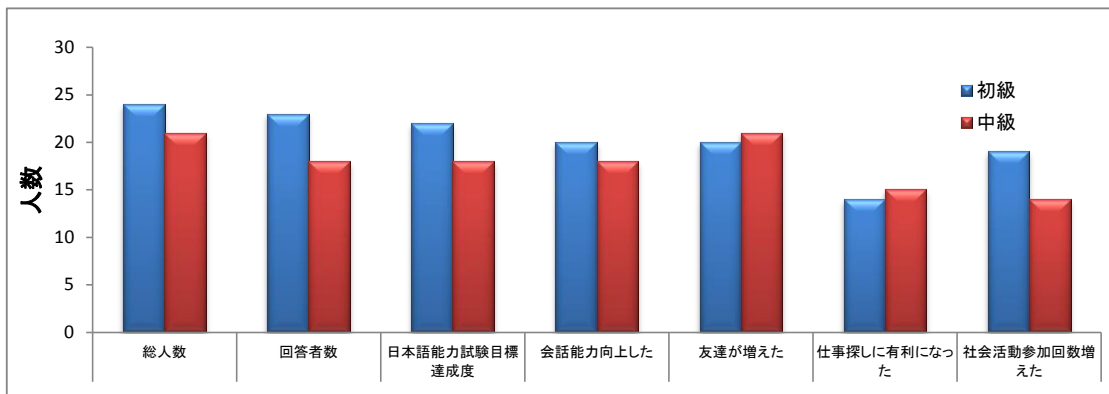
そこで、まず、中国人の指導者が自分が当初体験したできごとや失敗した体験を話しました。年賀状を出す時期や、又は出してはいけないケースなど日本の年賀状文化を紹介し、作り方や出し方など中国風と比べながら勉強しました。

また、昨年と今年の年賀状見本を何枚持ち込み、年賀状で使われている言葉や新年挨拶の言葉を勉強して、日本の年賀状に関する基本知識を学びました。

(9) 取組の目標の達成状況・成果:

① 当初の学習目標の達成状況

2014年3月に受講者を対象に実施したアンケート調査で、学習の達成度について下記グラフの通り回答がありました。また、教室が実施した日本語能力模擬試験の結果にも、80%余りの中級受講者がN3級を、90%以上の初級受講者がN5級を合格しました。



② 学習者の習得状況

初級クラスでは、「みんなの日本語」の基本文法、語彙などの習得によって、簡単な日常生活会話ができ、日常生活の中でのコミュニケーション能力を向上させました。

中級クラスでは、80%以上の受講者が日本語能力試験N3級模擬試験を合格したことによって、勉強に自信が持てるようになり、新たな目標を立てることができました。

初級、中級クラスとも毎回の授業には通訳ができる補助者を配置し、同じクラスでも日本語能力が比較的に低いことによって理解しにくい受講生を随時対応し、落ちこぼれないように工夫しました。内容構成には、日常生活に欠かせない社会保障・保険・税金知識、医療を受ける時の常識などを取り入れました。また、コミュニケーション能力を高めるために、お互いに顔を見ながら会話や質問をしたり、できるだけ中国語を使わずに、日本風のジェスチャーをまじえて会話の相手に演じたりして、実践に繋がることができ、学習効果を実感しました。

さらに、日本語学習の成果を実践として、イベントの開催や参加を実行しました。良い学習チャンスとなり、講師や補助者の随時説明、指導により、さらに良い学習効果を得ることができました。

(10) 改善点について:

① 現状

日本語を勉強したい人、日本語を勉強しなければならない人は依然数多くいます。しかし、日常生活に追われて、なかなか勉強出来ない人が大勢いることも事実であります。また、それぞれのレベルや場所、時間に合う教室が少ないため、受講できているのはその中の一部住民だけです。

② 今後の課題

人材と資金の不足で、需要に答えられません。

これからはいかに地方自治体やその他組織と連携して、より多くの学習チャンスを多くの学習希望者に提供できるかが課題になります。

③ 今後の活動予定、展望

岐阜県の外国人数は依然高い割合にあります、それに定住化が進んでいます。県内在住約1万5千人の中国系外国人住民の内、約半分に当たる7千人余は岐阜市及びその近隣市町村に住んでいます。多文化共生は岐阜でも避けて通れない課題です。

異文化共生社会を構築するには、交流の支障である在住外国人と日本人の言葉の壁や心の壁を取り除けなければなりません。根本的な外国人受入態勢を確立するには長期にわたって将来的な展望に立った上での研究や全社会からの支援、共生共存社会の構築が必要と思います。我々のような草の根活動を通して、より多くの住民にとって暮らしやすい社会になればと思います。

○取組2: 日中文化交流大会

(1) 体制整備に向けた取組の目標: 多文化共生社会を構築する第一歩はまずお互いを知るからです。日中食文化や代表的な日本文化である茶道体験等の交流活動により、一般市民と交流の場を作り出し、文化の理解し合い、尊重し合いの心を育みます。

(2) 取組内容: 中国の代表的な料理餃子及び粽を日中市民が一緒に交流しながら作って、食べます。日本語教室

(3) 対象者: 日本語講座の受講者及びその家族、地域一般住民。

(4) 参加者の総数 70 人

(出身・国籍別内訳 中国 42人、日本国 28人)

(5) 開催時間数(回数) 3 時間 (全 2 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 11月3日 9:00~ 12:00	3時間	岐阜市市 橋コミュニ ティセン ター	68人	中国(40 人)、日 本人(28 人)	食文化	本場の中国料理餃子と粽を日中市民が一緒にお話をしながら作って、一緒に食べて、両国の食文化、食卓マナーを理解し、実践しました。	長屋寿恵 (講師) 馬 励 (日本語 指導者)	銭 萃芬、辛 軍 青、銭 堅等
2	平成25年 11月3日 13:00~ 16:00	3時間	岐阜市市 橋コミュニ ティセン ター	68人	中国(40 人)、日 本人(28 人)	茶道	本番の茶道の先生を招いて、美しい日本の伝統文化茶道を体験し、おもてなしの心を育てます。また、家庭での一般的な礼儀作法を教えます。	ボラン ティア	銭 萃芬、辛 軍 青、銭 堅等

に っ ち ゅ う ぶ ん か こ う り ゅ う か い

日中文化交流会

前半は、中国文化の交流です。中国の代表的な料理『餃子』や『チマキ』を日本人と一緒に作ります。日本語で楽しく会話しながら食文化の交流をしましょう♪
後半は、日本文化の交流です。茶道の体験を通して、日本の作法を学びましょう♪
また、日本の交通ルールについての説明会も開催します。

【日 時】 11月3日(日曜日)9:00~16:00頃
【場 所】 岐阜市市橋コミュニティセンター 2F 料理教室・和室会議室
(岐阜市市橋6-13-25 TEL:275-3412)

【対 象】 中国にルーツを持つ住民
※ご家族での参加もOKです!

【定 員】 50名(応募者多数の場合は抽 選)

【参加費】 無 料

※10月30日(水)応募締切



お問い合わせ/お申し込み：
岐阜日中交流促進会
〒502-0931 岐阜市則武529
TEL/FAX (058) 233-4538
(又は岐阜市国際課内)
TEL/FAX (058) 263-1741



主 催：岐阜市(主管：公益財団法人岐阜市国際交流協会)
共 催：岐阜日中交流促進会、東海・北陸中国帰国者支援・交流センター

(あて先) 岐阜日中交流促進会 (きりとり線)

日中文化交流会 (11/3) 参加申込書



ふりがな:	電話番号:	—	—
お名前:	(歳)	E-mail:	
ご住所 〒	—		
※一緒に参加するご家族のお名前、年齢			

(7) 参加者の募集方法 岐阜市公共施設、国際交流団体窓口、役所市民課窓口などにチラシを置くと同時に、岐阜地域における中国系住民のネットワーク(主に口コミ)を活用しました。



(8) 活動風景

本大会の開催により、日本語教室の受講生たちは教室で学習した日本語を使い、積極的に中国の餃子や粽文化を参加者に紹介しました。また日本人市民の方からは日本の食卓のマナーや食に関する正しい日本語を教えてくださいました。特に、受講者はこの活動を通じて生の日本語を勉強できるチャンスと捉え、方言を含む今まで勉強した日本語を使って、参加者にまたは地域住民、日本人の家族に日本語で紹介することにより今までの学習成果を発表することができました。

また、茶道は日本代表的なおもてなし文化の一つです。当教室では日本人配偶者が多数いますので日常生活では欠かせない重要な文化の一つと認識しています。今回は地域の茶道の先生を招き、正しい礼儀作法を教わってもらい、地域の関係者、受講者の日本人家族も一緒に参加したことで、地域住民と幅広く交流することができました。

(9) 取組の目標の達成状況・成果

大会は予定通り開催され、大勢の方が参加しました。今回の活動通してお互いの文化にふれ合うことにより、交流の場ができ、相互の文化に対して一層の理解と尊重の心を育みました。

会場では、皆さんが仲間になり、誰かが日本人なのか、誰かが中国人なのか完全に区別ができなくなるくらい、和気あいあいと話が弾んでいました。

また、今回の活動は「中日新聞」にも取り上げられ、このような日々の努力がきっと国際化が進む日本の地域社会では欠かせないと改めて認識しました。

◇日中文化交流会 岐阜地区在住の中国人に日本語教育などしている民間団体「岐阜日中交流促進会」と岐阜市などが、市内の市橋コミュニティセンターで開いた。日本人の国際交流ボランティアと中国人ら70人が参加。水ギョーザ作り体験、互いの国の食文化

の理解を深めた。尖閣諸島をめぐる日中関係が悪化しているが、18年前から日本で暮らす中国・杭州市出身の女性、銭萃芬(せん・ぴんふん)さん(50)は「互いに理解を深め、共生の道を歩んでいこう」と話していた。

平成25(2013)11月6日 中日新聞(朝)

(10) 改善点について

多文化共生の地域づくりには意識啓発を外国人・日本人双方に対して行うことにより、双方自身の取組を促進させる仕組み作りが必要と認識しています。

○取組3:外国人のための生活安全講座

(1) 体制整備に向けた取組の目標 生活者としての外国人が地域において安心して生活を送ることができるよう、日本の安全な暮らし方を正しく学習します。

(2) 取組内容

警察署、市関係部署等と連携して、警察、消防団員等を講師として派遣してもらい日本で暮らすための防災、防犯、交通安全等を中心に、その基本知識、規則ルール及び奨励・罰則等を講習してもらい、日頃の備え及び意識啓発を促進します。また、当団体では、講座用の資料を収集・作成し、事前関連日本語を勉強した上で講座に臨みました。

また、上記の内容について、緊急時対応する日本語をしっかりと身につけ、不測時に備えます。

(3) 対象者 当日本語講座の受講生及びその家族等

(4) 参加者の総数 58 人

(出身・国籍別内訳 中国・中国 40人, 中国・日本国 18人)

(5) 開催時間数(回数) 6 時間 (全 2 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 11月15日 9:00～ 12:00	3時間	研修センター	38人	中国(32人)、日本人(5人)	防災、火事と地震	日本で安全・安心して暮らすための防災、火事と地震の基本知識を学び、日頃の備え及び意識啓発を促進しました。また、上記の内容について、緊急時対応日本語をしっかり身につけ、不測時に備えます。	本巢市消防団員	銭 萃芬、呉 志良、辛 軍青
2	平成25年 11月21日 13:00～ 16:00	3時間	研修センター	35人	中国(30人)、日本人(5人)	交通安全、防犯	日本で暮らすための防犯、交通安全等を中心に、その基本知識、規則ルール及び奨励・罰則等を警察を招いて講習してもらい、日頃の備え及び意識啓発を促進しました。また、上記の内容について、緊急時対応日本語をしっかり身につけ、不測時に備えます。	岐阜県警察	銭 萃芬、呉 志良、銭 堅

(7) 参加者の募集方法

岐阜市公共施設、国際交流団体窓口、役所市民課窓口などにチラシを置くと同時に、岐阜地域における中国系住民

(8) 特徴的な活動風景

岐阜県警察署、消防署、岐阜市関係部署等と連携して、警察、消防団員等を講師として派遣してもらい、外国人のための防災、交通安全基本知識を教授してもらいました。また、当団体では、講座用の資料を収集・作成し、事前関連日本語を勉強した上で講座に臨みました。

特に、最近改正された自転車に関する交通ルールについて、自転車を主な交通手段として生活している中国系住民には欠かせない知識であります。講座では、警察官が実際の交通事故を事例に詳しく改正法を話しました。また、自転車の二人乗りや、並行進行など中国ではよくあることが日本では違反だと注意すべき点を確認しました。

さらに、日々の防火・防災について、消防団員からいざ火災が発生した場合、火の消し方や他人に知らせ方を丁寧に教えてもらいました。また、地震に備え普段の準備の仕方、外国人ならではの注意事項を学習しました。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

交通安全、災害や防災に対する中国系住民の意識が高まりました。同時に、自助・共助の意識の下に適確に行動できる人材の育成、災害に強い外国人と地域まちづくりに役立てると認識しました。

また、こうした機会が無ければ会うこともなかっただろう、地域住民と外国人がどう協力し合うか、いざの時の避難生活などについて大変貴重な経験をされました。

(10) 改善点について 様々な原因で中国系住民は地域自治会が行った防災訓練には参加しない傾向がありあす。今後は中国系住民が多い自治会との連携にも力をいれ、各地に災害に強い外国人リーダーを育つ必要があると思います。

○取組4: 共生・共栄の道—地域で共に働く中国人・日本人住民の声から—

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本に居住する中国系住民が定住・永住傾向にある中で、文化的背景を異にする人々が共生・協働する社会の構築に向けて必要なことは何か？先進的な取り組みを紹介し、今後の地域社会生活に積極的な役割を果たします。

(2) 取組内容

第一部の日中文化セミナーでは、中国人との付き合いが長い、経験豊富な経営者、地域で共に働く中国人・日本人住民の声及び初めて中国を見てきた若い日本人のお話を聞き、共生・共栄の道について勉強します。第二部では、日中市民が困んで、交流の輪を広げていくための「語り合い、知り合う、そして助け合う交流会」を開催しました。

(3) 対象者 日本語講座の受講者及びその家族、関係企業の日本人従業員及び中国人従業員指導・監理・支援団体関係者、日本語支援者及び地域の住民等。

(4) 参加者の総数 100 人
 (出身・国籍別内訳 中国・中国 63人, 中国・日本 37人)

(5) 開催時間数(回数) 4 時間 (全 1 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 3月2日 10:00~ 15:00	4時 間	岐阜産業 会館	100 人	中国(63 人)、日 本(37 人)	共生・共 栄の道	地域で共に働く中国人・日本人住民の声からどのように共生・共栄の道を歩んできたか、どのように日本人も中国人も全員が一体となって、異文化との共生を実現したかの経験と体験を語ってもらい、そのことを契機に、外国人・日本人住民が地域における共生・共栄について考える機会とする。	長屋正幸 等	馬 励、辛 軍 青、呉 志良、長 屋 寿恵等



市民の皆さん、帰国者の皆さん、在日中国人の皆さん:「日中市民交流の集い」に参加してみませんか!

第一部では、中国人との付き合いが長い、経験豊富な経営者及び初めて中国を見てきた若い方のお話を聞き、共生・共栄の道について勉強します。第二部では、日中市民が囲んで、交流の輪を広げていただくための「語り合い、知り合う、そして助け合う交流会」を開催します。

皆さん、共に理解・尊重しあい、温かい心で、日中の春をお迎えしましょう!

主催 日中コミュニティ推進会

岐阜日中交流促進会

日時 2014年3月2日(日)午前10:00~午後15:30

場所 岐阜産業会館 第一会議室

第一部 日中文化セミナー

等身大の中国を語ろう

- ★ 私達が体験した初めての中国・日本
 - ★ 中国人と付き合いが十数年
共生・共栄の道—
地域で共に働く中国人・日本人住民の声から
- 時 間: 午前 10:00~11:30

※休憩 午前 11:30~11:45

軽食あり♪♪♪



【岐阜産業会館】

住所: 岐阜県岐阜市六条南

2丁目11-1

電話: 058-272-3921

第二部 語り合い、知り合う、そして助け合う 交流会

- ★ 日中市民互いに知る—帰国者・在日中国人・日本人による三者懇親
 - ★ いきいきサロン—太極拳: 日中友好協会岐阜県連合会 太極拳講座の皆様
—豆つまみ競争: 全員
 - ★ だれでもダンス—ベリーダンス・フラダンス体験
- 時 間: 午前 11:45~午後 3:30



(あて先) 岐阜日中交流促進会 TEL: 058-233-XXXX FAX: 058-233-XXXX
 受付担当: 呉/平方 緊急連絡先: 090-XXXX-XXXX (馬) 050-XXXX-XXXX (銭)

日中市民新春の集い 参加申込書



ふりがな:	電話番号:	-	-
お名前:	年齢代	E-mail:	
ご住所 〒	-		
※一緒に参加するご家族のお名前			

(7) 参加者の募集方法 岐阜市公共施設、国際交流団体窓口、役所市民課窓口などにチラシを置くと同時に、岐阜地域における中国系住民のネットワークを活用します

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

国際化、少子高齢化が進んでいる日本社会には、様々な企業が外国人を受け入れており、特に中国人が多くみられます。岐阜県でも同様であり、外国人住民・企業側双方に、共生社会の実現に向け、住民への発信が求められています。

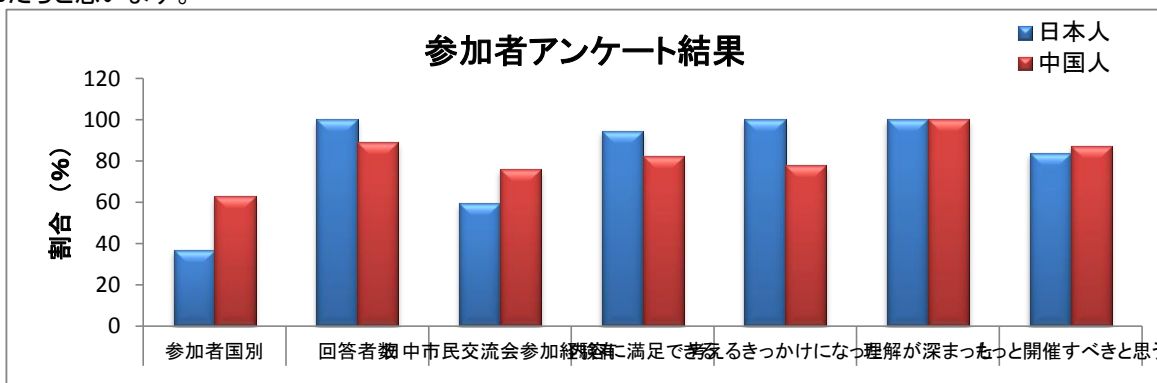
しかし、昨年3月に、広島県の水産加工工場で中国人技能実習生による凄惨な事件は、なぜ事件を防げなかったのか、そのために何が必要かなど、多くの関係者にとって深く考えさせられるきっかけとなりました。

そこで、中国人技能実習生を受け入れ経験が豊富な企業関係者や、中国人と付き合いが長い企業の社長などから様々な側面で、どのように共生・共栄の道を歩んできたか、どのように日本人も中国人も全員が一体となって、異文化との共生を実現したかの経験と体験を語ってもらい、共生・共栄の道づくりについて勉強しました。

また、多様な日中合作活動内容を通じて、日中市民が困んで、交流の輪を広げていくために「語り合い、知り合う、そして助け合う交流会」を開催したことにより、お互いにさらに親しみを感じて、真心をもって交流することができました。



(9) 取組の目標の達成状況・成果 活動最後のアンケート調査で示した結果、文化的背景を異にする人々が共生・協働する社会の構築に向けて必要なことは何か、外国人住民・日本人住民に広く考えてもらうきっかけとなったことは間違いありません。避けては通らない異文化共生を直面して、お互いに相手に対しどう理解を深めていくのかがこれからも大きな課題です。今回の活動では双方が真正面から違いを提起し、それに対し話し合い、理解を深めました。日々異文化の中で生活している私達が様々な活動を通じてより良い異文化共生社会を構築するためのたたき台になればと思います。



(10) 改善点について 外国人労働者と関係する分野の課題では、国、地域行政及び企業など社会全体の取り組みが必要である。外国人としての労働者の観点から労働法などもっと専門的な内容も取り入れべきであります。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的 外国人の定住化が進んでいることに伴い、自立した生活が送れるようにするため、日本語教育、生活の分野においては労働及び地域社会との繋がりが重要です。当団体の取組は中国語を母語とする住民を対象に、日本語能力を向上させると同時に日本社会に早く溶け込めるよう、様々な活動を通して地域住民として自立した生活ができることを目的としました。また、他の住民と良好な関係を築き、地域社会の一員として共生・共栄の役割を果たします。

(2) 事業目的の達成状況 日本語講座を開催したことにより、すべての受講者が日本語でのコミュニケーション能力が高まりました。

初級クラスの授業では皆がしっかりと目的と目標を持って、毎回の課題を一生懸命勉強し、できるだけクリアしました。受講生の全員が日常的な会話ができ、積極的に話すようになりました。特に家族ぐるみで勉強に来ていた受講生は上達が早く、家族間の会話も増えて、日本語が話せる生活が楽しくなったとの声が多く聞かれました。

中級クラスでは、受講開始当初からほとんどの受講生が高い目標を持っていました。日本に定住又は長期にわたり生活していくことを予定している人は、生活の質を高めるためには、日本語能力はもちろん、日本の文化や、社会知識の習得も不可欠であることを再認識しました。

(3) 地域における事業の効果、成果 岐阜市及び近隣市町村の定住者や永住者、日本人配偶者など特に定住傾向にある中国系住民が増加しています。日本語によるコミュニケーション能力の不足や、文化・習慣の相違による地域社会における様々なトラブルが後を絶たない中、この「生活者としての外国人」の日本語教育事業を実施しました。

○依然として生活に必要な最低限の日本語の習得を支援することでは、計108時間の日本語学習時間を設けました。外国住民の多数を占める中国系住民を対象とし、豊富な教育経験を持つ中国語話者講師等による中国語の説明を加えた授業を行いました。また、日本語教育資格を有する外部の専門家を定期的に招き、指導者及び学習者の質問や疑問等に応える場を設けることで一層の学習意欲向上及び外部とのネットワークを作り上げました。初級クラスと中級クラスを同時に進行することで日本語能力が異なる家族や友人が同一時間帯に受講できるようにすることで参加者数の維持拡大ができました。

○住民間の交流促進及び異文化交流キーパーソンを育成する目的で、日中文化交流大会及び生活安全講座を開催をそれぞれ複数回を開催しました。先輩の中国系住民や、日本人家族、地域日本人を招き、日本文化、地域社会との交流の機会を作り出しました。また、他機関との連携・協力に基づき、文化交流、防犯・防災、交通安全などの活動を通じて、「生活者としての外国人」の生活術を直接地域住民から教えてもらうことで顔の見える交流を実現しました。

○先輩住民である中国人と中国人と共に働く日本人の双方から、体験談を踏まえた相互理解についてセミナーと交流会を開催しました。文化や習慣の違いを超えて、共生共存の素晴らしさや友好関係を再認識する機会となりました。これらの取組を実施することにより、これまで培ってきた人材や地域のネットワークを広く発信し、新たな外国人リーダーを育成することができるものと確信しました。

本年度の様々な取組に参加したことによって日本語を勉強するきっかけとなった人がたくさんいました。今まで長期にわたり日本で生活しているにも関わらず、なかなか日本語を勉強しなかった人たちも、本事業をきっかけに、日本語学習と地域社会との積極的な交流を始めの一步として踏み出せました。生活に必要な日本語能力が高まると同時に、就学、就職ができたり、日本人家庭に嫁いだ中国人お嫁さんが順調に生活を始めたり、地域社会の生活に順応できたりする等、多くの中国系住民の日本での生活能力及びその質も大幅に向上したという評価を得ております。

さらに、同じ中国系の指導者がいることにより、日本語学習以外の悩み、不安なども相談することが多くありました。受講者を様々なイベントに参加させることで、地域住民とのコミュニケーションを取れるようになり、お互いに理解と尊重のもとで、本事業で築いた繋がりが、国籍、場所、時間帯を超えて広い人間関係が築くことができました。

(4) 改善点、今後の課題について

i 現状

岐阜県の外国人数は依然高い割合にあります、それに定住化が進んでいます。多文化共生は岐阜でも避けて通れない課題です。

異文化共生社会を構築するには、交流の支障である在住外国人と日本人の言葉の壁、制度の壁、心の壁を取り除けなければなりません。行政が主導で、もっと根本的な外国人受入態勢の確立に向けての取り組みや、将来にわたっての長期的展望に立った上での研究や支援、共生共存のできる社会の構築が必要と思います。

ii 今後の課題

全ての外国住民が自立下生活が送れるようにするため、教育、労働及び生活の分野において重点的に対応することが必要です。これからはいかに地方自治体やその他組織と連携して、より多くの学習チャンスをもっと多くの学習希望者に提供することが課題になります。

iii 今後の活動予定

我々はこのような草の根活動を通して、微力ながら貢献していきたいと思っております。